

名古屋工業大学研究室運営心得

名古屋工業大学研究者行動規範、名古屋工業大学研究者倫理に関するガイドライン、国立大学法人名古屋工業大学における研究費等の運営及び管理に関する行動規範、名古屋工業大学軍事関連研究に対する基本方針等に則り、以下のとおり名古屋工業大学研究室運営心得を制定する。この活動を通じて、名古屋工業大学の構成員としての品格を身につけ、研究室の内外から信頼や信用を得るよう心掛ける。

姿勢と態度

教員は、研究遂行のための基本的な行動や研究に対する姿勢・態度及び自己研鑽の努力に関して、学生の範となるよう心掛ける。研究室環境や安全管理にも配慮し、率先して誠意ある対応をとる。

日常的指導

教員は、研究に関わる学術的・技術的な指導に留まらず、研究者あるいは技術者としての倫理観の形成、知識の継承を目標とした指導を日常的に行う。研究室内の上下関係にかかわらず、報告・連絡・相談ができる風通しの良い研究室の運営に努める。

批判の受容

教員は、研究指導について、学生が批判や苦情を心安く進言できる環境づくりに努め、それらに謙虚に耳を傾けて真摯な態度で意見を交えることにより、問題解決を早期に図るよう努める。

人権の尊重

教員は、学生個々の人格・人権を尊重し、権威的ないしは威圧的に振舞うことなく、恣意や偏見に囚われることがないように、また差別的な言動がないよう注意し、あらゆるハラスメントの防止及び排除に努める。

搾取の禁止

教員は、学生の研究成果やアイデアを自己の業績や功名のために無断利用することのないよう心掛けるとともに、それらを搾取してはならない。

研究室内での諸行事

教員は、学生が利害関係者となることを自覚し、学生との懇親会・ゼミ旅行等の諸行事については社会通念に照らし、妥当な範囲内で行う。

研究環境の質的向上

教員は、責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、研究者コミュニティ及び自らの研究室の研究環境の質的向上に積極的に取り組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

研究活動

教員は、研究の立案・計画・申請・実施・報告などの過程において、誠実に行動する。研究・調査デ

一々の記録保存や厳正な取扱いを徹底し、ねつ造、改ざん、盗用などの不正行為を為さず、また加担しない。

共同研究・受託研究等の位置付け

教員は、共同研究・受託研究等の実施に当たっては、研究目的や内容、業務、役割分担について、学生とよく話し合い、信頼関係を築き、その研究の中で学生を成長させる視点を教員のみならず、メンバー全体で共有する。

軍事関連研究の禁止

教員は、学生教育への責任と、世界の平和と人類の幸福に貢献し得る人材育成のため、軍事関連研究を行わない。

研究費管理

教員は、研究費等の運営及び管理において社会的責務を負っていることを自覚し、関係法令、規程、事務手続き、使用ルール等を理解し、遵守する。

物品管理

教員は、物品の取得、使用、廃棄、譲渡及び貸与に関し、関係法令、規程、事務手続き等に従い、物品の適正かつ効率的な管理に努める。

法令の遵守

教員は、教育研究の遂行に関わる法規や規程の修得に努め、研究成果の公表に当たっては、著作権及び知的財産権に対して、社会の範となるように留意する。

利益相反

教員は、教育と研究において、個人と組織、あるいは異なる組織間の利益相反の有無に十分に注意を払い、利益の衝突を可能な限り排除するように努める。